

大阪損保革新懇ニュース

NO. 77
2006. 7. 28

大阪損保革新懇事務局
大阪市中央区道修町三の三の十
大阪屋道修町ビル3F 066332095

損保産業の今と未来を考えるブックレット出足好調！

全国の仲間にも普及活動はじまる！

七月初め、ブックレット「私たちが憲法改悪に反対します」―世界と日本の平和と損保産業―が六〇〇部納品されました。さっそく全国の協賛団体十三団体に一六〇〇部を発送するとともに大阪独自の取り組みを開始しました。各職場革新懇では職場の仲間への訴えと手渡し活動と大阪以外の仲間への郵送による活動で大きな反響をよんでいます。

ブックレットの反響大きく 業界紙にも記者会見

事務局では、全国革新懇をはじめ全国各府県の革新懇や今までの講師陣に贈呈するとともに関係各団体の紹介を要請しました。七月七日、野村代表世話人と野口事務局長が上京し全損保吉田委員長・浦上書記長を訪問し「刊行のあいさつと各支部への紹介」を要請しました。同日午後、損保業界紙「保険毎日新聞」「インシユアランス」「保険銀行日報」と記者会見を行い、ブックレット刊行にいたる経過と内容の特徴を説明しました。この席には「あいおい革新懇」から小西・西村両代表も列席しました。さらに全国教職員労組の会議にも出席してブックレットの刊行と活用を訴えました。全国的な普及活動を開始して三週間ですが、今回のブックレットへの反響は大きく、すでに多くの団体に配布され、事務局の残部は僅少という状況となっています。

世話人会では弾みをつけてもっとも全国的な活動の広がりを強めていこうと呼びかけています。

『品川さんを囲む夕べ』に 五七名の参加で盛大な集い

七月二日(水)、私たちの『ブックレット』と、品川正治さんの著書『戦争の本当の恐さを知る財界人の直言』の二つの刊行記念『品川さんを囲む夕べ』は道修町の“そば屋”に五七名の参加で盛大な集いとなりました。はじめに品川さんから、「最近の政治・経済情勢をどう見るか。各界各層の広範な『国民の出番』です。『よしいまが勝負だ』という気持ち

を、私たちが持つ時です」と挨拶していただきました。その後大いに歓談し十八名から普及活動の決意表明がされました。この日までに『財界人の直言』の本は一〇〇冊完売しました。



挨拶される品川正治氏

職場普及活動シリーズ

勇気をだして職場の仲間全員に購読！

4人の出先営業所の職場ですが、なんとか全員にブックレットを普及しようと決意しました。まず隣の若い女性に支店に勤務する「彼にも読んでほしい」と訴えたところ快く買っていただきました。そして営業の男性に「三〇〇円で買ってほしい」とすすめたところ怪訝な顔をしましたがOKの返答。最後は五時すぎに電話を掛け終った所長に勇気を出して品川さんの話と損保産業の提言などについて説明し勧めたところ本をパラパラッと広げて「いいよ」と快諾され、これで職場全員に普及できました。

Kさん

支社長からブックレット普及スタート！

七月二日の品川さんを囲む集いにはブックレット普及のスタートをきりたく、まず支社長に「すばらしい本だからぜひとも読んでほしい」と五〇〇円で買っていただきました。パートの女性には「あなたには一〇〇円で結構よ」と勧め普及しました。そして前任の支社長にも勧めなければと考え手紙を書いてブックレットを送付しました。

Mさん

カバンに持ち込み一人一人に勧める！

職場での普及は大変なことだが毎日カバンに持ち込んで話す機会を見つけては一人一人に勧めています。昨日は一日に六人に普及できました。旧知の営業課長と一緒に居酒屋に行き勧めたところビールを飲みながらずっと読み耽っていました。職場ですで一六冊普及できましたのでさらに勢いよく頑張りたいと思います。

Sさん

ブックレット「私たちが憲法改悪に反対します」

―世界と日本の平和と損保保険産業―

編集 大阪損保革新懇 一部 頒価 三〇〇円

申し込みは各職場世話人および事務局まで

雑誌「経済」友寄英隆編集長と

新日本出版社・田所編集長から礼状届く

六月二十九日、大阪革新懇主催で職場革新懇と労働組合共同企画による、雑誌「経済」友寄英隆編集長講師「新自由主義とは何か」の学習講演会が開催され大阪損保革新懇から二〇名の仲間が参加しました。

私たちのブックレットの損保産業の現状の分析が「損保版の新自由主義」といえるのではないかと思いました。

新日本出版社から発行された品川正治氏の著書『戦争の本当の恐さを知る財界人の直言』には大阪損保革新懇での二つの講演が採録されています。このような関係から友寄英隆氏と新日本出版社編集長・田所氏の両氏にブックレットをお送りしましたところ、お二人から丁寧な礼状をいただきました。

友寄氏は「損保産業と職場の実態は大変勉強になりました。大阪の損保のみなさんの活動は以前からいろいろな機会に話題になっていました。第二部の現代損保の分析と提言は今後の編集企画の参考にさせていただきます」。

田所氏は「品川さんの本を一〇〇冊完売してくださいましてありがとうございます。非常に清潔感と親しみの湧くブックレットです。品川さんの講演も小口寄りに余白をとられ、読みやすいグラフが多いというだけでなく、新自由主義の弊害の深い切り込みになっていて、読む方に問題の核心が何かが分かり易いとも感じました。秋には刊行される品川さんの第二弾の書に期待を寄せてお待ちしておりますがたく存じます」。

憲法、教基法改悪に反対 対話強め 社会変えよう



憲法9条を守る大きなうねりをつくろうと開かれた大阪革新懇総会
—22日、大阪市

地域、職場で広く大きく 大阪革新懇が総会、交流

進歩と革新をめざす大阪の会（大阪革新懇）は二十二日、二〇〇六年度総会を大阪市内で開きました。百九人が参加し、地域、職場に革新懇を広げ、革新懇運動の新たな前進を切り開くこと討論しました。

成瀬明彦代表世話人が「小泉構造改革の五年間で億万長者が百五十万人増えた一方で、フリーターが四百七十七万人増えました。いまこそ国民が主人公の政治をめざす革新懇運動を、大きく広げよう」とあいさつしました。

加藤洋子世話人が「平和・民主主義・生活向

大阪損保革新懇 憲法と損保問題 ブックレットに

大阪損保革新懇（野村英隆代表世話人）はこのほど、憲法を守る立場と損保産業の現状と課題を総合的に取り上げたブックレットを刊行しました。



（写真）。全国の損保革新懇と損保9条の会の協力で実現したものです。規制緩和・新自由主義の流れが強まる中、損保産業が安心・安全を保障・補償の第一義にする産業から、効率・利益第一主義の産業へ変質したことをさまざまな角度から検証。経済同友会終身幹事・品川正治氏の三つの講演、損保自由化以降の

問題点の分析、六月に大阪で開かれたシンポジウム「いま、損保の職場はどうなっているか」の内容などを収録しています。大手二社への業務停止命令の背景についての見解も明らかにし、提言をしています。一部300円。

問い合わせは大阪損保革新懇06(62332)1095。

大阪革新懇総会などで

ブックレット紹介

七月二十二日（土）、国労会館で二〇〇六年度大阪革新懇総会が開催されました。大阪損保革新懇から五名が出席しました。これからの一年は「小泉構造内閣の矛盾があらゆるところに噴出している」と憲法・教育基本法の改悪に反対する運動を正面にすえて、社会を変え対話を進めよう」の方針が確認されました。

来賓の長尾淳三東大阪市長が「選挙の勝利は多数の市民が新しい政治を願ったからです。東大阪市をよくするため全力でがんばります」と挨拶され大きな拍手が沸きました。討論の中で野口事務局長はブックレット刊行の目的・経過・編集と今後の普及活動について力強く報告し、大阪の地域・職場革新懇での活用を訴えました。当日、会場で

2006年7月23日付しんぶん赤旗から掲載

二〇部を購入していただきました。同日、「商社9条の会・関西」の講演会が開催されブックレットの紹介をしました。六日、「証券革新懇の集い」でもブックレットが紹介され六〇部普及されました。十四日、「大阪宗教者9条の会」主催の憲法講演会でブックレットを訴え十三部が購入されました。事務局では各地の講演会や会議に訪問し普及活動をすすめていきたいと考えています。

上)の三つの革新の共同目標で幅広い人々の共同を追求してきた一年間の運動を報告。「憲法・教育基本法の改悪に反対する運動を正面にすえて、社会を変え対話を強めよう」などの基本方針を提案しました。

来賓の長尾淳三東大阪市長が「選挙勝利は多数の市民が新しい政治を願った結果です。市民と語り合い、東大阪市をよくするために全力でがんばります」とのべ、大きな拍手を受けました。

十三人が発言。「九十九、二十九日に行っている『サインデー宣伝』が五十九回を迎え、参加人数は千人を超え、憲法改悪反対の署名も三千人分集めた(寝屋川革新

